

CHUKYO SENIOR HIGH SCHOOL

平成23年度

学園ニュース

小川英次・前学長が理事長就任

学校法人梅村学園の理事長に前中京大学学長の小川英次氏が4月1日付で就任されました。

前中京大学附属中京高等学校校長 多湖実松氏 70歳

11月3日、秋の叙勲・瑞宝小綬章を受章される。

平成23年度卒業式

平成23年度、第86回卒業証書授与式は3月1日午前10時から本校体育館で挙行され、325名の卒業生が梅村学園最上級生、同窓会会長佐藤隆先生始め多数の来賓・父兄・在校生・教職員のご祝福を受け、大学・実社会へ門出をした。

平成23年度入学式

4月6日、(水)本校体育館で第八十九回入学式が、小川英次理事長、花村和宏学監、同窓会長、PTA会長のご臨席のもと盛大に挙行され、439名の新入生を迎えました。

伊神勝彦校長は、式辞の前に東日本大震災で「犠牲となられた多くの方々のご冥福と、被災された方々へのお見舞いを申し上げます」と述べました。式辞では、一に「これから皆さんは、校訓「真剣味」に幾度となく触れる機会があると思います。その時々、真剣味を体得し、高校生として人間として成長して欲しい。」二に「学校は『学ぶ術を学ぶ所』です。自身の三年後、七年後の進路目標に向かって学習に励んでください。」三に「夢と希望を持ち、何事にも力一杯挑戦してください。また、真の友情」を育みながら、学校行事や部活動に皆さんの情熱と爽やかな新風を吹き込んでくれることを期待しています。」三点について述べられました。

小川英次理事長は祝辞で、皆さんは、この春わが国で起こった未曾有の大震災について生涯忘れられないことではないでしょうか。『がんばろう！日本』を合言葉に、新入生も全国で立ち上がりました。皆さんも本校で大きく、さらに強くなっていこうという気持ちでがんばり、頼もしく見つけておられます。本学の建学の精神は「学術とスポーツの真剣味

中京大学附属中京高等学校 入学式

の殿堂たれ」であり校訓は「真剣味」であります。学校創立者は、学力、体力、気力あふれた人格の育成をめざしました。今日から始まった高校生活三年間、皆さんがどう過ごすかで、皆さんの将来が決まるといっても言い過ぎではありません。多くの友達を作り、友人との交友、触れ合いの中で大きく成長していただきたい。」と述べられました。

新入生を代表して鈴木康太君が、「現在この日本の中に被災し、家を失った家族を失った僕たちと同年代の生徒が沢山いると聞いています。そんな環境の中、こうして何事もなく高校生活を送ることに僕たちは感謝し、学ぶこと・生きることが真摯に受け止め、これからの高校生活を大切に過ごしたい」と思っています。また、歴史と伝統のある中京大学附属中京高等学校の生徒として埃を払い、その名に恥じぬよう、実りある学校生活を送ることと宣言しました。

平成23年度卒業生進路状況について

平成23年度卒業生は325名で進路決定状況は(表1)の通りでした。

学校見学会

平成23年度学校見学会が中学生や保護者を対象に10月8日、11月12日間、約二千三百名が参加して行われた。

修学旅行

平成23年度、修学旅行は11月14日、15日2回に分けて(3泊4日)の日程で行われた。

行程(1日目)

中部国際空港→那覇空港→ひめゆり会

寄付金ご協力ありがとうございました

本会員皆様は平成元年からご寄付の協力をいただいておりますが、ご芳名を「会報第19号から28号まで」順次掲載ご紹介しています。今年度は次の方々にご寄付いただきました。(平成24年2月20日現在)心からお礼申し上げます。

領収証が必要な方は振込用紙通信欄に「領収証必要」とご記入ください。追って送付いたします。

滝 正男

神谷二郎

山本希安

大森昭夫

丹羽保二

浅井秀夫

青山 実

木場昭博

梶山実夫

大内敬哉

篠田克己

神田秋雄

木村繁範

田中陽成

山本 肇

河本三紀夫

川岸信一

鈴木保之

佐原康仁

竹内孝充

森田三郎

鈴木秀男

藤森末博

春日井正人

時野敏郎

河合美彦

棚橋 潤

阪野文夫

坪田要三

渡辺 豊

後藤武司

安藤佳永

中山稔丈

難波真史

及川勝彦

木場政志

木場健司

中條淳司

丹羽年弘

中川あゆみ

堀木豊彦

森俊次郎

牧浦吉純

深見幸博

森田起行

中西庸夫

舟瀬勇太

森川美里

平山厚志

梅原達哉

野々山涉

松尾 修

松浦博篤

木下正門

塩谷忠之

戸恒 巖

大平富士夫

岡本政宏

小塚 馨

浅井敏江

山田精一郎

高柳 徹

山中栄三郎

安井秀雄

高原 進

鈴木淳夫

小島勝之進

犬飼敏彦

川瀬弘道

横井敏子

高橋一夫

深谷弘次

二宮政明

千賀喜八郎

岡本典之

田中 穰

阪野博安

林 咲貴

梅村清弘

木村忠次

服部 勇

本康崇文

稲熊 泉

村瀬英義

三浦一浩

山内博貴

深見修平

加藤治男

千村涼太

戸田 皓

大西秀允

日比進一

加藤高広

亀谷信吾

岩倉格夫

近藤由香

斉藤幸二

佐藤鉄生

樽本英信

浅井吉雄

遠藤正昭

大川嘉成

濱島安信

早川周吾

中島豊雄

小林謙之

若山義一

福場正紀

羽田田常治

澤口勝利(20回同窓生一同)

魚野 淨

佐野達明

川畑和也

稲垣 裕(22年度未掲載)

寄付金ご協力をお願い

同窓会の収支決算書は毎号会報でご報告しておりますが、年々、厳しい財政状況となっており、今後は入会金の値上げも検討し、同窓会運営の遂行に努めていく所存です。

本会の収入は新会員の入会金(終身会費一名六千円)と会員皆様のご寄付で運営しております。会員皆様には出費多難な折り誠に恐縮です。

2010年度同窓会費決算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日)

(単位:円)

支出の部

収入の部

科目

収入

科目

収入

27号会報印刷費

1,144,479

入会金

1,950,000

郵送・通信費

1,064,075

寄付金

1,175,000

手数料

19,800

受取利息

151

ダイレクトメール手数料

160,904

前年度繰越金

1,065,281

事務費

111,585

合 計

4,190,432

前期末未払金

3,097,634

期末未払金

△1,430,804

次年度繰越金

22,759

合 計

4,190,432

が、本会の財政事情をご理解くださいまして、今後も同窓会の事業運営を維持していくため、ご寄付のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

・一口 五千円

・同封の振込用紙をご利用ください(振込手数料不要)